



TITLE:

表紙・編集後記・目次

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・編集後記・目次. 英文学評論 1983, 48

ISSUE DATE:

1983-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/135165>

RIGHT:

英文學評論

第 XLVIII 集

さまざまな語り口

——メルヴィル『ホワイト・ジャケット』覚書——

.....中 村 紘 一

恣意の空間と攝理の空間（その四）

——『序曲』第一巻の鳥の巢^う涼りの少年・覚え書き ㊦——

.....松 下 千 吉

シェイクスピア劇とローマ史の人物像

——プルタルコスを中心に（VI）——

『アントニーとクレオパトラ』論（その三）

アエノバルブス、ポンペイウス、レビドゥス

.....木 村 輝 平

京都大学教養部英語教室

目次

さまざまな語り口

——メルヴィル『ホワイト・ジャケット』覚書——……………中村絃一……（一）

怒意の空間と攝理の空間（その四）

——『序曲』第一卷の鳥の巢掠りの少年・覚え書き——……………松下千吉……（七）

シェイクスピア劇とローマ史の人物像

——ブルタルコスを中心に（Ⅵ）——

『アントニーとクレオパトラ』論（その三）

アエノバルブス、ポンペイウス、レビドウス……………木村輝平……（一）

編集後記

☆ 今回は予定していた執筆者二人が最後になって書けなくなつたので、論文三篇のみという寂しい内容となつた。我々編集委員の力が及ばなかつたためであり、申しわけなく思っている。多忙にもかかわらず原稿をお寄せくださった三人の執筆者に対しては厚く御礼申しあげる。

☆ 昨年初め我々が編集委員になつてから、ここ暫く中断していた教室談話会を復活した。九月六日にはケムブリッジから帰国されたばかりの桜井正一郎助教授から、「ケムブリッジの事など——帰朝報告にかえて」というお話をきいた。また十一月四日には簗下卓郎助教授から「ロマン派における未完の問題」と題するお話をきいた。いずれもお話をめぐって質問や意見が活発に出て、有意義な会であつた。我が教室の伝統ともいふべき談話会が今後もとぎれることなく続いてゆくことを望んでやまない。

☆ 目下ニューヨーク大学で御研究中の田中礼助教授はお元気に勉強され、見聞をひろめておられる様子である。無事多くの成果をあげて帰国されることを祈っている。御帰国の節にはまた談話会でお話を伺えるものと楽しみにしている。

(編集委員)

英文学評論 第四十八集

非売品

昭和五十八年三月十五日 印刷

昭和五十八年三月二十三日 発行

編集者 京都大学教養部英語教室

代表者 長谷川 年 光

印刷所 山代印刷株式会社

京都市上京区寺之内小川西入

発行所 京都大学教養部英語教室

京都市左京区吉田二本松町

REVIEW OF ENGLISH LITERATURE

Volume XLVIII March 1983

CONTENTS

- Modes of Narration in Melville's *White-Jacket*
..... Koichi Nakamura
- Space of Self Will and Space of Providence (IV)
—Notes on the Bird's-Nesting Boy in *The Prelude* (BK. I) (3)
..... Senkichi Matsushita
- Roman Historic Figures and Shakespeare:
A Historical Approach to Shakespeare's Roman
Plays with Special Reference to Plutarch — Part II
On *Antony and Cleopatra* (III) Teruhira Kimura
-

ENGLISH DEPARTMENT
COLLEGE OF LIBERAL ARTS
KYOTO UNIVERSITY